

ップラーレーダーを搭載する。航空機搭載のドップラーレーダーは機動力の面から特筆に値する。前に述べたようにプロファイラーもかなりの数が稼動している。

日本の現状はどうであろうか。残念ながら航空機は論外としても、京都大学の共同利用施設である MU レーダーは世界有数のプロファイラーである。年々利用者が増え、対流圏を対象にした観測も行われている。ドップラーレーダーは現在、気象研究所に2台、北海道大学、電波研究所、土木研究所、名古屋大学に各1台の計6台が稼動している。数の上からは世界2位である。ちなみに諸外国では、フランスの2台、西ドイツ、フィンランドの各1台である。しかし、日本ではおのおのの研究所、大学が独自に対象を選んで観測を行っている。米国の例を見ても分かるように、観測には1つの対象に対して持てる力をすべて投入する「全力投球型」の体制で臨むことが大切のようだ。研究環境や行政上の違い、研究費の少なさ、等問題は確かに多いが、メソ気象の観測的研究の分野では協同の特別観測の体制作りが急務であるように思える。メソ気象は行政官庁は防災の面から、研究所や大学は学問的な面から、おのおの十分に興味を持ち得る対象であるからである。

米国で今急速に普及しているケーブルテレビには、Weather Channel という24時間解説つきで天気予報を流し続けるチャンネルがある。通常のテレビ局には専門の「meteorologist」がいて独自の天気予報を出す。アメ

リカ人もなかなか天気予報好きである。国が集めたさまざまな気象データは民間に流して有効に利用されている。国の気象に関連するいくつかの行政機関が協力体制にあることを含めて、このあたり日本とはずいぶん異なる社会環境である。

おわりに、私の米国滞在は科学技術庁長期在外研究員制度によった、Oklahoma 大学・CIMMS の佐々木教授、また NSSL の Kessler, Maddox 両所長や職員の方々には滞在中たいへんお世話になりました。渡米に関しては気象研究所の多くの方々にお世話になりました。この紙面を借りて深く感謝いたします。

文 献

- 石原正仁, 榊原 均, 柳沢善次, 松浦和夫, 青柳二郎, 今泉孝男, 1987: 2台のドップラーレーダーによって観測された関東地方の雷雲の内部構造, 天気, 34, 321-332.
- 上田 博, 1985: NSSL(NOAA/ERL) に滞在中, 天気, 32, 201-206.
- 小倉義光, 1983: 集中豪雨とたつまき, 科学, 53, 169-176.
- 藤原美幸, 1984: 第21回レーダー会議に出席して(II), 天気, 31, 231-234.
- Sarreal et al., 1986: NEXRAD products and algorithms, Part 1 Descriptions and scientific basis, Preprints, 23rd Conf. on Radar Meteor., JP 83-86, Snowmass, CO, AMS, MA.

「朝日賞」候補者推薦のお願い

昭和62年度朝日賞の受賞候補者をご推薦くださいますようお願い申し上げます。原則として昭和62年1月1日から同12月31日までに完成、または完成予定の業績を対象とします。フレッシュな候補者の推薦も歓迎します。また貴殿の専門外の分野からでも構いません。なお、勝手ながら、推薦票は本年9月16日までに、お送りいただきたいと存じます。

朝日賞の正賞は賞牌とし、別に副賞(賞金=1件につ

き100万円)をお贈りします。受賞者は昭和63年元日の朝日新聞の紙面で発表し、1月中旬、朝日新聞東京本社で贈呈式を行います。

お問い合わせなどは、下記へお願いいたします。

朝日新聞東京本社 企画第二部「朝日賞」係
〒104 東京都中央区築地5-3-2
電話 03-545-0131 内線 5477